事業実績書

事業名	歌声伴奏サービス事業
場所	沼津市内全域
期間	平成31年4月4日 ~ 令和2年3月31日
	実施項目・作業項目
	●事業概要

市内において認知度が低い、高齢者に対する音楽療法の普及と、これに参画する 新たな人勢の育成を行う事業

- ①市内高齢者施設における音楽療法(音楽イベント)の啓発・体験
- ②音楽療法を担う人材育成・マニュアル(譜面・歌詞カード等含む)の作成

●実施内容

4月4日~

市内大規模の高齢者施設(あしたかホーム・フジビュー・沼津ホーム・エリ シオン・オーチャード)に訪問し、それぞれの担当者に対し事業を説明し、全 37 回 (コロナ対策により 3 公演中止) の歌声事業のスケジュール調整を行っ

歌声事業の実施状況は次のとおりである。

各施設での合同歌声企画、クリスマス会、幼稚園や保育園児との行動企画等を 提案し開催をした。

=	भार	-
事	業	内
	容	

	日付	事業所名
1	2019/4/16	あしたかホーム様
2	2019/4/23	エリシオン沼津様
3	2019/5/7	ぬまづホーム様
4	2019/5/14	あしたかホーム様
5	2019/5/28	エリシオン沼津様
6	2019/6/11	あしたかホーム様
7	2019/6/19	ぬまづホーム様
8	2019/6/25	オーチャード様
9	2019/7/22	ぬまづホーム様
10	2019/7/23	あしたかホーム様
11	2019/7/30	オーチャード様
12	2019/8/20	あしたかホーム様
13	2019/8/27	ぬまづホーム様
14	2019/8/28	オーチャード様
15	2019/9/3	あしたかホーム様
16	2019/9/7	オーチャード様 お祭り
17	2019/9/9	ぬまづホーム様 敬老会
18	2019/9/24	グリーンヒル様
19	2019/10/15	あしたかホーム様
20	2019/10/21	ぬまづホーム様

21 2019/10/22 オーチャード様	
22 2019/11/5 ぬまづホーム様	
23 2019/11/12 あしたかホーム様	
24 2019/11/19 オーチャード様	
25 2019/11/24 オーチャード様	
26 2019/12/17 ぬまづホーム様 クリ	スマス会
27 2019/12/23 フジビュー様 クリス	マス会
28 2019/12/24 オーチャード様 クリ	スマス会
29 2019/12/25 あしたかホーム様 ク	リスマス会
30 2020/1/8 ぬまづホーム様	
31 2020/1/21 オーチャード様	
32 2020/1/28 あしたかホーム様	
33 2020/2/4 ぬまづホーム様	
34 2020/2/10 オーチャード様	
35 2020/2/25 あしたかホーム様 コ	ロナ対策で中止
36 2020/3/17 オーチャード様 コロ	ナ対策で中止
37 2020/3/23 ぬまづホーム様 コロ	ナ対策で中止
38	

事業内容

なお、人材育成事業については、レッスン生を主体として、当法人スタジオで研修を行うとともに、毎回1名以上を同行し現場での実習を行った。

また、歌声事業を効果的に行うには、月3~4回の実施が必要であるが、現状のスケジュールでは月2~3回が限度であるため、施設職員が歌声事業の補完をすることができるように、CDによる音源作成・マニュアルを作成し歌声体験実習を行うなど職員の人材育成も併せて実施した。

地域住民との交流として、門池福士まつり等、歌声伴奏の場を広げていくよう に様々なイベントでプレゼン、演奏を行った。

歌声伴奏サービス事業



人材育成事業



クリスマス会



施設お祭り



門池福祉まつり



地区祭り



今後の活動予定

現在、それぞれの施設からの開催依頼は絶えない状況であることから、平成32年度も引き続き同事業を実施していくことにより、市内の高齢者施設のみではなく、 一般の方にもこの活動が理解されるような普及活動を進めていきます。

自己評価

歌声事業の実施において、これまで市内での認知不足により、実施することができなかったが、包括支援センター会議での周知、各施設訪問による営業の成果として、全34回の開催をすることができた。

いずれの施設でも大盛況であり、次の開催に繋げて行くことができたものの、現状の課題としては、多くの施設はこれまでボランティアによる歌声事業を受け入れてきた経緯から、プロのミュージシャンによる音楽療法をこれと同等に見るケースが多く、同事業が受益者負担による自立運営を進めていくには、まだまだ実績が必

要であると捉えています。

しかしながら、施設職員をはじめ、同事業を一緒に行ってくれる人材の確保は進んできており、今後も同事業を継続して行い、それぞれの施設の理解を得ていく予定である。